

特集 たんの吸引、医行為をめぐる連携

たんの吸引や経管栄養について、特養の介護職員が（一定の研修を受け、医師の指示の下で看護師と連携しながら）行なっても「違法にはならない」とする厚生労働省の検討会報告書がまとめられました。介護と看護がケアの輪を広げながら協働しているケースを紹介しつつ、それぞれを尊重したこれからのスムーズな連携について特集します。

安全で効果的な介護職との協働を実現するために——介護職によるたんの吸引や経管栄養について、看護にできること 川村佐和子

介護職によるたんの吸引等、医行為について

——在宅医療でいま、必要とされることは何か 太田秀樹

高齢者施設で働く介護職に必要な医療の知識と技術 城美奈子

胃ろうにおける医療・福祉の連携 伊藤佳世子

高齢者ケアに賭ける喜び——介護センターひよりを開設して 渡邊一敏

介護の豊かさを原点として——訪問看護ステーションひよりの実践 多田みゆき

社会学の視点からみた介護と看護の協働 上之園佳子

対談【高齢社会の鍵を握る介護と看護——介護研究会での実践から】

安達マツ子／小池洋子

■特別記事

『逝かない身体——ALS 的日常を生きる』

第41回大宅荘一ノンフィクション賞受賞記念対談 川口有美子／柳田邦男

■連載

訪問看護時時刻々 石田昌宏／在宅ケア もっとやさしく、もっと自由に！ 秋山正子／すっきり&安心アロマ 百々雅子・福島光子／せんねん村村長 老いを地域で活かす 中澤明子／ほんとの出会い 岡田真紀／読むことと旅すること 服部祥子／お母さんといっしょ 横谷順子

編集後記

●二年後の同時改定に何を望むか。どこを評価し、どんな支援があれば生きやすいか？ それぞれの立場で議論が進んでいることと思います。これまで訪問看護は報酬がついていなくても「お金（制度）は後からついてくるもの」と割り切って、必要とされることなら持ち出しとなってもやってみる心意気でやってきました。次の改定に向け、そうした実践を知らせていくことも雑誌の使命だと思います。実践報告や読者の声欄へのご投稿をお待ちしています。……………伊藤

●映画『瞽女さんの唄が聞こえる』を観た。40年前に撮影された最後の高田瞽女 3人の生活と道行きを、今になって纏めたものだ。瞽女さんは盲目の旅芸人。上越の村々を唄を聴かせて旅をした。当時、人々は生まれた村を一步も出ずに生涯を終えることも少なくなかったから、彼女たちの“訪問”をとても楽しみに待っていた。新潟の在宅医・黒岩貞夫先生は瞽女さんと訪問看護・介護に通ずるものがあると指摘している。秋山正子さんは自家製の歌集をいつも鞆に新宿の町を渡りゆく。というわけで（？）、本誌の主題歌を勝手に考え中・募集中なのです。…杉本

訪問看護と介護 第15巻 第6号（通巻168号） 2010年6月15日発行（毎月1回15日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo©2010, Printed in Japan

1部定価1,260円（本体1,200円＋税5%） 年ごめ予約購読料13,200円（年間12冊，税込，送料弊社負担）

電子ジャーナル閲覧オプション付 18,200円（税込，送料弊社負担）

発行：株式会社 医学書院／代表者：金原 優／販売部：03-3817-5659／社内案内：03-3817-5600

『訪問看護と介護』編集室：直通03-3817-5787 FAX 03-5804-0485 担当：杉本・伊藤・早田

E-mail houmon@igaku-shoin.co.jp 医学書院ホームページURL <http://www.igaku-shoin.co.jp/>

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有します。

〔JCOPY〕＜（社）出版者著作権管理機構 委託出版物＞

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構（電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、E-mail info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。本誌掲載論文・記事のタイトル頁最下段に記された「1341-7045/10/¥250/論文/JCOPY」は、1論文1回複写につき250円要することを明示したものです。これは表示のない論文等にも適用されます。JCOPYへのご連絡の際には、筆頭著者名・論文名と併せて本表示をご提示くださるようお願いいたします。